



襲いかかる危機の中で
生死を賭けた冒険が始まった!

WALT DISNEY'S

東京ディズニーランド 開場記念特別番組

Tokyo Disneyland®

© WALT DISNEY PRODUCTIONS

● 83年、ディズニーは
2つの素敵なドラフを贈ります!

今だからこそ、
冒険心。

日本語版

きつねと猟犬

りょうけん

バンビ

● 文部省特選 ●

製作●ロン・ミラー/原作●ダニエル・P・マニックス(講談社刊
ディズニー名作総誌)
監督●アート・ステープルス/脚本●ラリー・クレモンズ/バンス・ゲリー
音楽●バティ・ペーカー(ソムトラ盤)

東宝

製作●ウォルト・ディズニー/原作●フェリックス・サルタン(講談社刊
ディズニー名作総誌)/監督●テビッド・バンド
脚本●バース・ピアース/ラリー・モレイ/音楽●フランク・チャーチル
エドワード・ブランブ(ソムトラ盤)

配給●東宝株式会社

3月12日(土)ロードショー!

伊勢丹前・シネタウン
新宿文化シネマ2 (354) 2098

The FOX and
the HOUND

Bambi

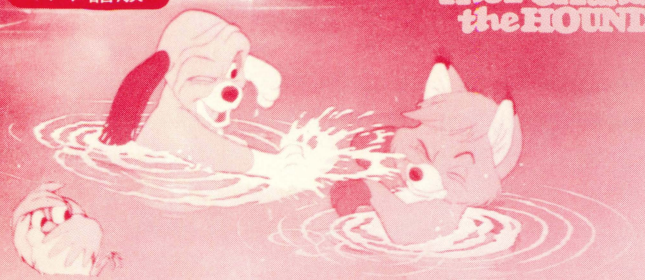


森の貴公子バンビの
たくましい成長をつつる
ディズニー動物アニメの最高傑作!

きつねと猟犬

日本語版

The FOX and the HOUND



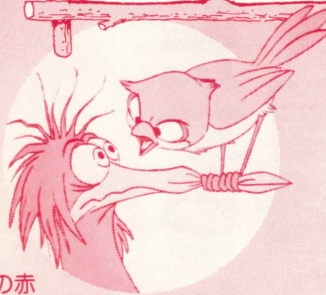
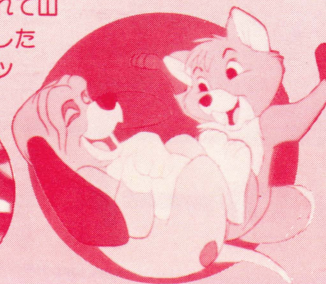
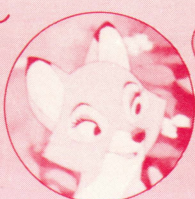
ディズニー・アニメの中では、最も新しい作品として、全世界の子供達に迎えられています。この作品の楽しみのひとつは、たくさんのかわいい動物が、みなさんのお友達に加わった事です。お話は、ある所に親子のきつねが仲良く暮らしていました。でも、ふとした事からお母さんぎつねは、猟師に殺されてしまいます。残されたかわいそうなきつねは、近くの農家に住んでいるおばさんに育ててもらう事になりました。「トッド」という名前もついて、大切に育てられました。その頃、

「コッパー」というトッドと同じぐらいの猟犬の赤

ちゃんが、近くの家に連れられて来ました。ある日コッパーが森の中へ出かけて行くと、トッドが楽しそうに遊んでいました。トッドとコッパーは、すぐに仲良しになりました。そして「これからずっと友達でいようね。」と約束を交わしました。本当ならば、きつねと猟犬はとても仲が悪いものなので、それを見ていたふくろうのビッグ・ママは心配でなりません。でも、そんな心配をよそにトッドとコッパーは、心から楽しそうにふざけ合っていました。ある時、それを知った猟師のエイモスは猟犬として育てるため、かわいそうな事にコッパーを犬小屋にくくりつけてしまいました。やがて冬が訪れました。コッパーは、エイモスに連れられて山

へ狩に出かけました。今度帰ってくる時は、きっと立派に成長した猟犬として帰ってくる事でしょう。そして、おばさんもまたトッドが大きくなった時の事を考えて森の中へ返してあげる事にしました。冬が過ぎ、二度目の春がやってきました。トッドもコッパーもとても立派なきつねと猟犬に育ちました。そしてもうすぐ、初めて出会ったあの森で冒険が始まろうとしているのです。

東宝



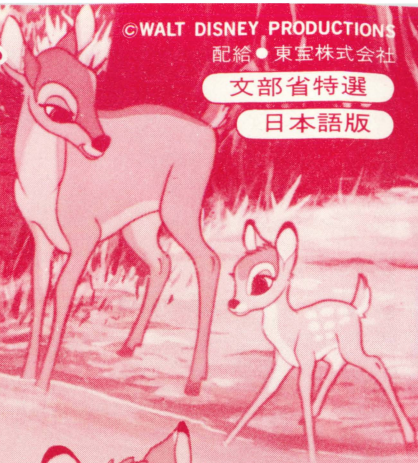
自然が年々少なくなっていく日本で、子供達はどのようにして冒険心を育ててゆけばよいのだろうか。21世紀の扉が開こうとする今、心の中に自然の息吹きをかよわせることは、子供達にとって大きな財産となるでしょう。

Tokyo Disneyland

東京ディズニーランド開場記念特別番組

バンビ

Bambi



©WALT DISNEY PRODUCTIONS
配給・東宝株式会社
文部省特選
日本語版

ディズニー・アニメは、これまでたくさんのドラマを描いてきました。でも、これほど素晴らしく忘れる事の出来ない動物の物語は、他にはないでしょう。記念すべき、アニメーション最高の名作とされています。さてお話は、ある静かな森に、とってもかわいい子鹿が生まれました。お母さん鹿にしっかりと抱かれていた子鹿の「バンビ」。みんなからお祝いの言葉を受けて、とても幸せそうです。腕白ウサギのトン助に連れられて歩いた森は、色とりどりの花にうずまり見るものすべてが、小さな胸をときめかせるのでした。ある日、お母さん鹿はバンビを連れて

広い野原へ出かける事にしました。かわいくておませなめず鹿の「ファリーン」にも初めて出会いました。仲間の鹿達を守る立派な大鹿にも出会いました。季節は変わり、やがて森にも白い冬がやってきました。バンビにとっては、氷の上で遊べる楽しい季節でしたが、食べ物なくなるのもこの季節です。平和な森も毎日がよい事ばかりではありませんでした。二度目の春を迎えたある日、雪の間から顔を出した草を食べていると、

猟師達がやってきました。かわいそうにお母さん鹿は逃げ遅れ、もう二度とバンビの元へ戻る事はできませんでした。ひとりぼっちになったバンビを、いつか森で会った大鹿が育ててくれる事になりました。やがてバンビにも立派な角がはえて、幼なじみのファリーンと遊んでいるうちに悲しみも消えてゆきました。そんなある夏の日、お母さんを殺したあの人間達がまたやってきました。そして動物達を追いまわしている間に、キャンプの火がまわりの木に燃えうつり、森は大火事になってしまいました。あの平和だった森は!? 友達みんなは!? いったいどうなってしまうのでしょうか――

